

令和5年度第2回

---

# 北海道 文化財保護審議会

---

公 開

日時：令和5年11月6日（月）14時00分～

場所：道庁別館 9階 第1研修室  
（札幌市中央区北3条西7丁目）  
：Web会議システム（Zoom）

# 会 議 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 報告事項

文化財の指定（登録）の状況 . . . P 1

報告資料 1 . . . P 2

国宝の指定について

（北海道白滝遺跡群出土品）

重要文化財の指定について

（北海道常呂川河口遺跡墓坑出土品）

報告資料 2 . . . P 6

登録有形文化財の指定について

（レースホース牧場（旧大日本競走馬生産）本厩舎）

(2) 協議事項

道指定文化財の諮問に対する答申

(3) その他

4 閉 会

# 令和5年度第2回北海道文化財保護審議会出席者名簿

## 1 委員

◎・・・部会長、○・・・副部会長

区分	役職	氏名	所属等	出席	部会	摘要
学 識 経 験 者		内田 祐一	文化庁アイヌ文化振興調査官	○	○ 2	
		北村 清彦	北海道大学大学院名誉教授	○	1	
		熊木 俊朗	東京大学大学院常呂実習施設教授	×	1	
		白木 彩子	東京農業大学生物産業学部准教授	×	○ 3	
		鈴木 明彦	北海道教育大学札幌校教授	○	3	
	副会長	角 美弥子	北海道教育大学岩見沢校准教授	○	2	Zoom
		瀬川 拓郎	札幌大学教授	○	○ 1	
		谷本 晃久	北海道大学大学院教授	○	◎ 2	
		中島 宏一	北海道開拓の村館長	○	1・2	
		並川 寛司	北海道教育大学名誉教授	○	◎ 3	
		羽深 久夫	札幌市立大学名誉教授	○	◎ 1	
	会長	森 雅人	札幌大谷大学教授	○	2	
		山本 亜生	小樽市総合博物館主査	○	3	Zoom
行政		近藤 昌幸	北海道森林管理局計画保全部長	○	3	

## 2 事務局（文化財・博物館課）

所属名	職名	氏名
北海道教育庁生涯学習推進局	局長	村上 由佳
北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課	課長	菅野 泰之
	課長補佐（文化財保護係）	清水 厚次
	課長補佐（文化財調査係）	藤原 秀樹
	係長（文化財保護係）	村上志保子
	主査（文化財保護係）	菊地 梢
	専門主任（文化財保護係）	内田 和典
	主任（文化財保護係）	小林 絵里
	主事（文化財保護係）	青山 桃子

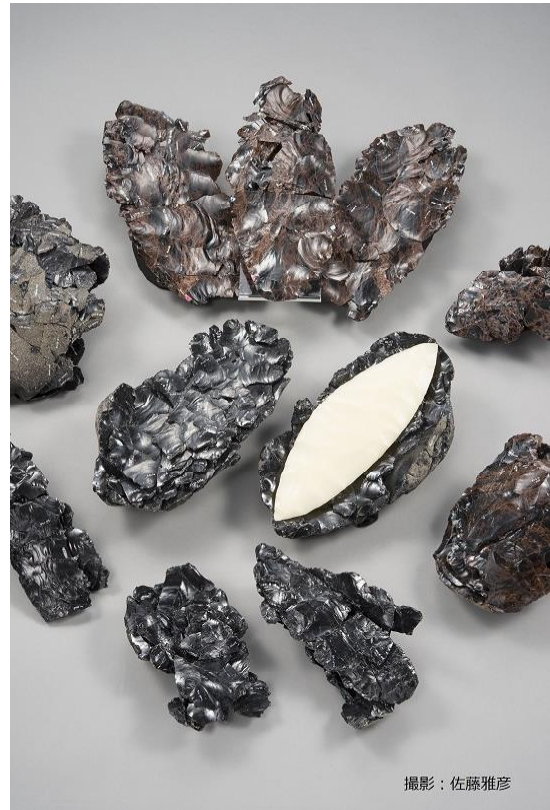
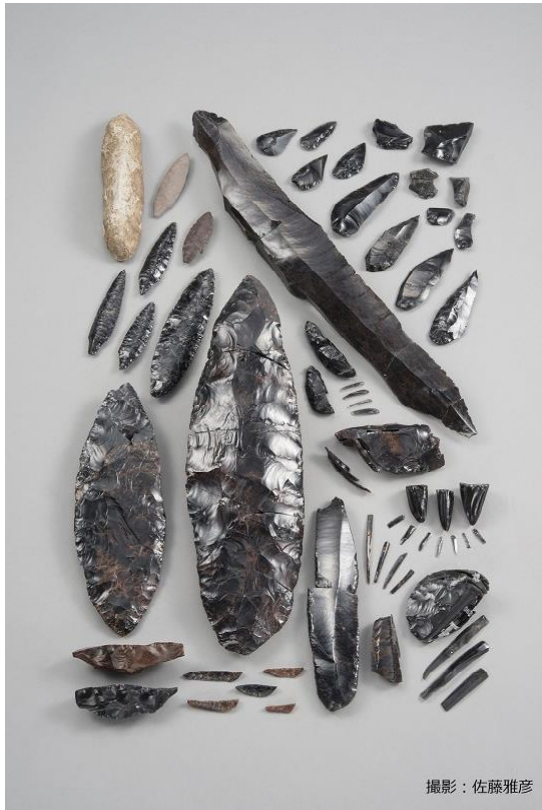
- ア 北海道白滝遺跡群出土品に係る国宝指定及び  
北海道常呂川河口遺跡墓坑出土品の重要文化財指定について（報告資料1）
- イ レースホース牧場（旧大日本競走馬生産）本厩舎の登録有形文化財  
登録について（報告資料2）

## 国宝の指定について

国の文化審議会が令和4年（2022年）11月18日、文部科学大臣に国宝に指定するよう答申した次の考古資料について、令和5年（2023年）6月27日付け文部科学省告示第55号をもって正式に指定された。

種別	国宝（考古資料）
名称及び員数	<small>ほっかいどうしらたきいせきぐんしゆつどひん</small> 北海道白滝遺跡群出土品（1,965点） 1. 石器 1,514点 1. 接合資料 451組
所有者	遠軽町（遠軽町埋蔵文化財センター保管）
指定基準	「国宝及び重要文化財指定基準」（昭和26年文化財保護委員会告示第2号）の考古資料の部の国宝「重要文化財のうち学術的価値が極めて高く、かつ、代表的なもの」による。
指定の理由	<p>全1,965点から成る一括。約15,000～30,000年前の遺物であり、わが国で最も古い国宝となる。</p> <p>後期旧石器時代前半期の小形剥片石器を主体として石刃技法が顕著な石器群と、同時代後半期の細石刃石器群、および細石刃石器群に優美で精巧な作りの尖頭器を伴う石器群などに分けられ、後期旧石器時代前半期から後半期に至る石器の変遷と組み合わせを明瞭に追うことができる。中でも全長36.3センチメートルの超大形の尖頭状石器をはじめ、多数の木葉形尖頭器、それらの制作にかかわる数百点の剥片・破片を接合した接合資料・石核、現存最大長の大形石刃等が注目される。わが国の旧石器時代遺跡出土遺物の中でも、内容・質量ともに群を抜く一括資料である。</p> <p>（後期旧石器時代・約15,000～30,000年前）</p>

● 国宝「北海道白滝遺跡群出土品」



## 重要文化財の指定について

国の文化審議会が令和4年（2022年）11月18日、文部科学大臣に重要文化財に指定するよう答申した次の考古資料について、令和5年（2023年）6月27日付け文部科学省告示第58号をもって正式に指定された。

種 別	重要文化財（考古資料）										
名称及び 員 数	<small>ほっかいどうところがわかこういせきぼこうしゆつどひん</small> 北海道常呂川河口遺跡墓坑出土品（1,805点） <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1. 土器・土製品</td> <td>137点</td> </tr> <tr> <td>1. 石器・石製品</td> <td>1,459点</td> </tr> <tr> <td>1. 装身具</td> <td>204点</td> </tr> <tr> <td>1. 鉄製品</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>1. 赤漆塗櫛残欠</td> <td>1点</td> </tr> </table>	1. 土器・土製品	137点	1. 石器・石製品	1,459点	1. 装身具	204点	1. 鉄製品	4点	1. 赤漆塗櫛残欠	1点
1. 土器・土製品	137点										
1. 石器・石製品	1,459点										
1. 装身具	204点										
1. 鉄製品	4点										
1. 赤漆塗櫛残欠	1点										
所有者	北見市（北見市ところ遺跡の森保管）										
指定基準	「国宝及び重要文化財指定基準」（昭和26年文化財保護委員会告示第2号）の考古資料の部の重要文化財の1「土器、石器、木器、骨角牙器、玉その他縄文時代及びそれ以前の遺物で学術的価値の特に高いもの」による。										
指定の理由	<p>オホーツク海に注ぐ常呂川河口に形成された、縄文時代晩期から続縄文時代中葉の集団墓地からの出土品。全1,805点の遺物で構成される。</p> <p>装飾性に富み、方形あるいは<small>かわぶくろがた</small>革袋形もある奇抜な器形の土器群、墓坑に副葬された黒曜石製の石鏃、琥珀や硬玉、ガラスなどから作られた多種多量の玉類等が注目される。特にサハリン産とみられる琥珀の玉は極めて多量で、その形状も多彩。これらは北海道東部における、縄文時代から続縄文時代の文化内容を示すとともに、当時の葬送儀礼や副葬品の実態を示すうえで貴重な資料である。</p> <p style="text-align: center;">（縄文時代晩期～続縄文時代・紀元前5～4世紀）</p>										


●重要文化財「北海道常呂川河口遺跡墓坑出土品」





## 登録有形文化財の指定について

## ○ レースホース牧場（旧大日本競走馬生産）本厩舎

所在地	新ひだか町	
所有者	レースホース牧場株式会社	
登録基準	国土の歴史的景観に寄与しているもの	
概要		<p>日高地方の三石歌笛に所在する競走馬牧場の桁行70メートルに及ぶ長大な厩舎。腰折れ屋根で、二階は干し草置場、一階は馬房が並ぶ典型的な造りで、馬産地の歴史的景観を形成する。</p>
登録年月日	令和5年8月7日	